2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名　株式会社ディスラプターズ　　上場取引所　東
コード番号　6538　URL https://disruptors.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長 CEO　(氏名) 板倉広高
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員　(氏名) 曽根康司　TEL 03-6555-5054

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,327	19.2	202	74.7	198	73.7	128	115.7
2025年3月期第1四半期	1,113	25.4	115	5.3	113	4.1	59	24.3

(注) 包括利益　2026年3月期第1四半期　128百万円　(115.7%)　2025年3月期第1四半期　59百万円　(24.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	6.29	―
2025年3月期第1四半期	2.92	2.92

(注) 2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,780	2,182	57.7
2025年3月期	3,788	2,198	58.0

(参考) 自己資本　2026年3月期第1四半期　2,182百万円　2025年3月期　2,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
2026年3月期	―				
2026年3月期(予想)		0.00	―	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,086	18.4	501	42.3	496	41.3	342	61.5	16.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2．四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	20,996,400 株	2025年3月期	20,996,400 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	525,959 株	2025年3月期	525,959 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	20,470,441 株	2025年3月期1Q	20,453,628 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料のP.3「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（収益認識関係） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国で大統領令として発令された相互関税に端を発し、日経平均株価が大幅な変動をするなど、経済の見通しは極めて先行きが不透明な状況が続いておりました。また、厚生労働省が発表した2025年６月の有効求人倍率は1.22倍と人手不足の状況は変わらず、日本銀行が発表した同月のサービス価格指数は前年比＋3.2%と、サービス価格の上昇が続いております。このような環境の中、当社グループは、マーケティング事業及びDX事業を運営してまいりました。

（マーケティング事業）

マーケティング事業においては、HR（人材）領域及び不動産領域でサービスを展開しております。

HR領域では、前連結会計年度に開始した、人材紹介会社、派遣会社等においてマッチングが成立していない候補者に対し、当社グループの巨大な求人プラットフォームを提供するサービスであるアライアンス・マーケティングの取り組みが継続して成果を上げ、収益を牽引いたしました。

不動産領域の個人向けサービスでは、限られたクライアント予算に対して安定的な収益を得るべく、引き続き、利益獲得重視にシフトした事業運営を進める一方、付帯サービスの連携先開拓を進めてまいりました。また、法人向けサービスでは、フレキシブルオフィスの掲載数における優位性を生かし、新規大型施設の建設・開業に対する積極的な営業提案を行ってまいりました。

以上の結果、セグメント売上高は1,032百万円（前年比30.8%増）、セグメント利益は202百万円（同44.7%増）となりました。

なお、サービス別の売上高の内訳は以下の通りとなります。

転職	577百万円
アルバイト・派遣	222百万円
不動産	227百万円
その他	0百万円

（DX事業）

DX事業においては、法務DXを提供するContractS株式会社の業績改善が更に進み、営業支援サービス「Leadle」、オンライン面接システム「BioGraph」の販売機会の推進をした結果、大幅に収益力を改善することができました。

以上の結果、セグメント売上高は314百万円（前年比4.5%減）、セグメント損失は０百万円（前連結会計年度同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

また、各事業の推進に加え、当社グループは、グループ会社間の連携によるシナジー創出機会の増加、生産性の向上を目指し、2024年10月１日に持株会社化を行っております。

以上の結果、当社グループの当四半期の売上高は1,327百万円（前年比19.2%増）となりました。営業利益は202百万円（同74.7%増）、経常利益は198百万円（同73.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益128百万円（同115.7%増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産の部）

当第１四半期連結会計期間末における総資産残高は3,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ７百万円減少しました。これは主に、売掛金の増加62百万円、顧客関連資産の減少47百万円、現金及び預金の減少34百万円によるものであります。

（負債の部）

当第１四半期連結会計期間末における負債の残高は1,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ８百万円増加しました。これは主に、長期借入金（１年内返済予定を含む）の減少68百万円、買掛金の増加45百万円、未払金の増加25百万円によるものであります。

（純資産の部）

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少しました。これは主に、非支配株主との取引に係る親会社の持分変動による資本剰余金の減少46百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払いの結果、利益剰余金の増加31百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現在入手可能な情報に基づいておりますが、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合があります。なお、現時点での業績予想につきましては、2025年５月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,067	1,032
売掛金	517	579
その他	62	77
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	1,642	1,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23	23
その他（純額）	10	10
有形固定資産合計	34	33
無形固定資産		
ソフトウエア	20	37
のれん	377	355
顧客関連資産	1,578	1,531
無形固定資産合計	1,975	1,924
投資その他の資産		
投資有価証券	2	2
敷金	89	88
会員権	23	23
繰延税金資産	16	16
その他	4	4
投資その他の資産合計	135	135
固定資産合計	2,145	2,094
資産合計	3,788	3,780
負債の部		
流動負債		
買掛金	178	223
未払金	229	255
未払費用	38	30
契約負債	134	146
未払法人税等	82	71
未払消費税等	61	48
預り金	14	36
賞与引当金	3	7
１年内返済予定の長期借入金	223	177
その他	0	0
流動負債合計	966	998
固定負債		
長期借入金	605	582
繰延税金負債	18	17
固定負債合計	623	599
負債合計	1,589	1,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	395	395
資本剰余金	364	317
利益剰余金	1,649	1,680
自己株式	△211	△211
株主資本合計	2,198	2,182
純資産合計	2,198	2,182
負債純資産合計	3,788	3,780

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
売上高	1,113	1,327
売上原価	339	482
売上総利益	774	844
販売費及び一般管理費	658	642
営業利益	115	202
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
為替差益	－	0
助成金収入	1	－
雑収入	1	1
営業外収益合計	3	1
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	0	－
損害賠償金	－	3
雑支出	2	0
営業外費用合計	4	5
経常利益	113	198
税金等調整前四半期純利益	113	198
法人税等	54	69
四半期純利益	59	128
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	59	128

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
四半期純利益	59	128
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	59	128
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	59	128
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	マーケティング事業	DX事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	788	324	1,113	－	1,113
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	3	4	△4	－
計	789	328	1,117	△4	1,113
セグメント利益又は損失（△）	140	△21	118	△2	115

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△２百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	マーケティング事業	DX事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,027	299	1,327	－	1,327
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	14	19	△19	－
計	1,032	314	1,346	△19	1,327
セグメント利益又は損失（△）	202	△0	201	0	202

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額０百万円は、セグメント間取引消去が含まれております。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
減価償却費	52百万円	52百万円
のれんの償却額	21	21

（収益認識関係）
（顧客との契約から生じる収益を分解した情報）
財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下の通りであります。

（単位：百万円）

	売上高	
	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
マーケティング事業	788	1,027
転職	328	577
アルバイト・派遣	169	222
不動産	290	227
その他	0	0
DX事業	324	299
マージナル	9	6
ContractS	109	123
Sales X	206	170
顧客との契約から生じる収益	1,113	1,327
その他の収益	－	－
外部顧客への売上高	1,113	1,327

（注）　当第１四半期連結会計期間より、DX事業の「Leadle」につきまして、販売主体がSales Xへ変更になったことに伴い、「Sales X」に集計しております。
なお、前第１四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後の区分に組替えた数値で記載しております。